

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券、営業活動のDXを加速する  
「アドバイザリーポータルシステム」を導入  
新システムにより、営業員の提案力強化とお客さまサービス向上を実現**

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長：荒木 三郎／以下、三菱UFJモルガン・スタンレー証券）は、株式会社日立製作所（執行役社長兼CEO：東原 敏昭／以下、日立）の協力の下、デジタルトランスフォーメーション（DX）推進の一環で、お客さまへのサービス向上を支援する新しいCRMシステム\*1として「アドバイザリーポータルシステム」を導入しました。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、世界的に実績のあるセールスフォース・ドットCOMの金融機関向けクラウドサービス「Salesforce Financial Services Cloud」（以下、FSC）を国内の証券会社として初めてCRMシステムに採用しました。

FSCには、お預り資産残高、他社資産残高、運用目標・実績に加え、お客さまご本人のみならずご家族全体の資産状況を反映することができます。これにより進学や不動産購入などのライフイベントを考慮した、お客さまの中長期ライフプランに沿った運用アドバイスをサポートします。

導入にあたっては、システム構築パートナーの日立が約50の関連システムと連携するCRMシステムを更改しFSCと融合させたことにより、システムの開発工程を大幅に圧縮し、短期間での構築を実現しました。「アドバイザリーポータルシステム」はスムーズなマルチチャネル対応や他システム連携を可能とし、お客さまニーズの変化にも柔軟に対応できる拡張性を有しています。

三菱UFJモルガン・スタンレー証券は、今後も営業活動の分析機能やAI連携などデジタル技術活用によるお客さまサービス強化を図り、お客さまの多様なニーズに対応したアドバイザリー型ビジネスの強化に取り組んでまいります。

また、日立は、Lumada\*2を中心に、お客さまのDXを加速するソリューションの拡充・強化を継続的に実施し、三菱UFJモルガン・スタンレー証券の新たなイノベーションの創出に向けた取り組みを支援します。

\*1 CRMシステム：Customer Relationship Managementの略。顧客情報を収集・管理し、分析などを行い、最適なお客さまへのアプローチや営業活動を支援するシステム。

\*2 Lumada：お客さまのデータから価値を創出し、デジタルイノベーションを加速するための、日立の先進的なデジタル技術を活用したソリューション・サービス・テクノロジーの総称。